

■台湾：第4原発の稼働に関する世論調査

民間の研究機関である台湾永續能源研究所（TAISE：Taiwan Institute for Sustainable Energy）は2013年2月25日、第4原発（龍門原発：135万kW×2基：ABWR）の稼働について、18歳以上の1,077人（社会人、学生）を対象としたアンケート調査で、反対52.4%、賛成45.1%と発表した。同研究所の関係者は「2010年のアンケート調査では僅かながら賛成票が反対票を上回ったが、福島第1原発事故後、国民の警戒心が高まっている」とコメントしている。同原発は、1998年に建設を着工して以来、政治的な理由や工事トラブルにより工期が10年以上遅れ、2014年に完成する予定になっている。